

JALIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2026.Feb Vol.54

Presented by 株式会社ジェイック



26卒就職支援【4年生8月～12月】

ジェイックアンケートから見る

26卒の就活状況

26卒就職支援

【 4年生
8月～12月 】

ジェイックアンケートから見る 26卒の就活状況

株式会社ジェイックでは、就職支援サービスにご登録、イベント参加されている学生に対して、定期的に就職活動の状況や学生生活に関するアンケートを実施しています。今回は、2025年8月1日～12月31日に、26卒の学生に対して「就職活動の状況に関するアンケート」を実施した結果をお伝えいたします。

※就職活動に関するアンケート 回答数:2701件 期間:2025年8月1日～2025年12月31日

※ジェイック就職支援サービスの登録者には、大学の就職課・キャリアセンター・大学生協経由で登録する学生が多いです。 ※ジェイック就職支援サービスに26卒で登録している学生を対象としております。

4年生8月～12月のイベント登録者の内定取得率は**15.5%**

6月時点では21.3%で下がりました。「内定はあるが納得がいけない」という「納得感」を求める声もあります。

選考中の企業数3社以下が**90.2%**

「エントリーシートを出している」「面接を受けたことがない」という学生が3割程度となっています。

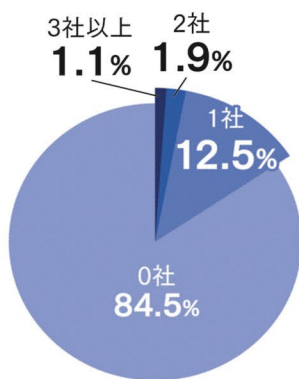
就職活動の悩み1位は「面接対策・通過率」が**39.1%**

「面接が苦手」「面接に自信がない」などは年間通して変わりませんが、「全体的な不安」や「進路変更層の就職活動」など4年生後半戦特有の悩みが増えています。

4年生後半学生の 内定取得率

1社以上持っている

15.5%

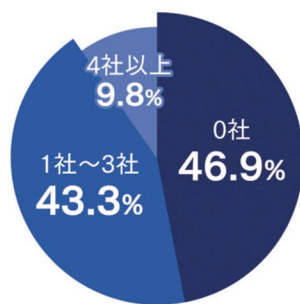


内定社数はいくつありますか?と質問したところ、0社という回答が84.5%でした。一方で、内定を1社以上持っている学生も一定数(合計15.5%)存在しており、「内定はあるが納得がいけない」「自分に本当に合う企業をもう一度探したい」という「納得感」を求めるニーズが後半戦の活動を支えています。

選考中の企業数

3社以下が

90.2%

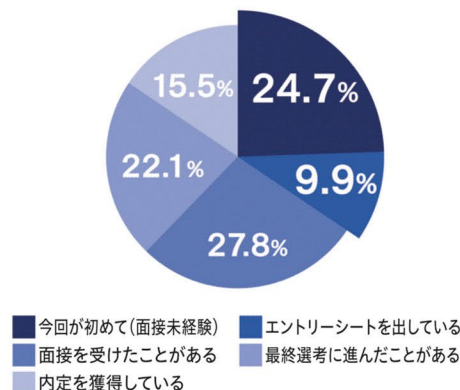


ジェイックの就職イベント以外に現在選考中の企業はありますか?という質問については、3社以下の回答が90.2%となり、約47%の学生が「現在選考中の企業が1社もない」状態でイベントにエントリーしています。1社～3社の層と合わせると9割以上の学生が選考が3社以下という状況で、選択肢が少ない中、就職活動を進めていることがわかります。

就職活動の進捗状況

「面接未経験」または
「エントリーシート提出段階」の学生

34.6%



就職活動の進捗状況を教えてください(一番近いものを選んでください)と質問したところ、この時期であっても、「面接未経験」または「エントリーシート提出段階」の学生が約35%(3人に1人以上)を占めており、就職活動に出遅れてしまった学生や進路変更層(公務員からの民間企業への就職切替)などの動きが見えてきました。

今回の調査結果からは、世間一般で「早期化・高内定率」が報じられる一方で、今なお活動を続けている学生たちが存在することが確認できました。特に、選考中企業が「0社」という学生が約47%に達し、9割の学生が選択肢を絞り込んでいる、あるいは選択肢の限られた状況にあることが推察されます。

また、4年生後半を迎えても「面接未経験・ES段階」の学生が約3割存在することは、公務員試験や大学院試験から民間の活動へ切り替えた層が、新たなフィールドでの活動を模索している現状を示唆しています。次ページでは、学生の具体的な悩みを見ていきます。

就職活動の悩み1位は「面接対策・通過率」

「現在の就職活動の悩みを教えてください(例:履歴書の自己PRが書けない)」と自由回答で質問し、回答をカテゴライズしました。悩みの第1位は面接対策や通過率での課題となりました。後半戦の特徴としては4位、5位に不安や進路変更についての内容が増えていることになります。ここでは第5位までの内容と、その具体的なコメントについてお伝えいたします。

第1位

面接対策・通過率 39.1%

面接のテクニックだけでなく、「理由のわからない不採用」に対する恐怖心も特徴です。

「一次面接で落ちることが多い。早く終わらせたいが、中々終わることができない。」
「質問への返答に違和感があるとフィードバックで言われるが、何が悪いのか自分ではわからない。」
「面接で話が長すぎてしまい、相手の質問に対して分かりづらい回答をしてしまう。」
「面接で頭が真っ白になって、何を言っているのか分からなくなる。」

第2位

企業・業界選び・就活軸 18.1%

「やりたいこと」がわからず「就活の終わりの方」を見失っている学生が目立ちます。

「何をもって就活を終わらせたらよいか分からなくなってしまった。これから自分に合う企業が見つかるか不安。」
「やりたいことがない。どの企業がいいかと言われても決まらない。」
「ナビでおすすめされた企業しか受けてこなかったで、自分が進むべき道がわからない。」
「納得のいく就職先が見つからないが、どこをどう探せばいいのかも不明。」

第3位

自己分析・PR作成 11.2%

自己分析や自己PR作成についても「もう直すところがない」と行き止まりを感じている層がいます。

「大学生活以外にガクチ力がなく、GPAは高くてもそれをどうPRしていいか困っている。」
「自分の強みを企業が欲している人材に結びつけて説明できない。」
「週3の頻度でキャリアセンターに通い、もう内容的に変えられるところがない自己PRでも、書類選考で落とされる。」

第4位

全体的な不安・焦り 9.3%

周りが終わっている中での孤独感や就活のモチベーションが維持できない、といった精神的悩みが多いです。

「公務員試験の結果待ちだが、このまま公務員一本で過ごすことにとても不安を感じ、今回応募した。」
「履歴書の自己PRが公務員向けなので、民間向けの書き方が全くわからない。」
「教員採用試験に落ちたばかりで、塾や教育業界以外に何があるのか知らない。」

第5位

公務員等から民間への進路変更 5.4%

秋以降の特徴は、公務員試験や教員採用試験、大学院試験の結果を受けて流入してきた「リスタート層」です。

「公務員を志望し最終試験まで進んだが、落ちてしまった。民間の履歴書を書いたことがないので心配」
「院試を考えていたが断られてしまい、どう立ち回ればいいのかわからなくなっている」
「教採に落ちてしまったので今から就活で何をしたらいいかわからない」

フリーコメントを紐解くと、彼らは決して意欲が低いわけではなく、以下の「戸惑い」によって一歩が踏み出せずにいることが推察されます。

周囲とのギャップによる孤独感

学内のコミュニティが「就活モード」から「卒業・入社準備モード」に切り替わる中で、相談相手を失い、自分の立ち位置を客観視できなくなっています。

民間就活の作法への不安

公務員などの他進路を目指していた層は、民間のスピード感や面接特有のコミュニケーションに戸惑いを感じており、短期間でのマインドセットの切り替えに苦慮しています。

納得感と期限の板挟み

内定を保持している15.5%の層を含め、「このまま決まていいのか」という将来の自分への責任と、卒業という期限の間で、決断を下すための確かな「基準」を求めています。

卒業が近づくこの時期、キャリアセンターの窓口を訪れる学生の方々は、就活のスキルへの不安以上に、心のどこかで「誰かにそっと寄り添ってほしい」という心細さを抱えているのかもしれません。私たちジェイックは、大学の皆様を支える「第二就職課」として、学生一人ひとりが自分自身の良さに改めて気づき、納得感を持って新しい門出を迎えられるよう、皆様と共に歩み、誠心誠意サポートを続けてまいります。

ジェイックのイベントに対する期待は「良い企業に出会いたい」

就活後半戦(8月～12月)に動いている学生が、ジェイックのWeb面接会に何を求めてエントリーしたのか?(複数回答可)について期待のトップ5を分析すると、「どうしたらいいかわからない」という切実な不安が見えてきました。

第1位

良い企業に出会いたい 81.8%

「今の時期になると求人も減って、優良企業に出会えるのか不安です。納得のいく企業を見つけたい」
「外国人留学生を対象としない面接会ですが、それでも採用したいと考えていらっしゃる企業様に出会えば幸いです」
「地元(埼玉県)で転勤がなく、事務職を募集している企業はあるのか事前に知りたい」

第2位

面接に慣れたい 45.5%

「本番に近い環境で練習したい。場数を踏んで、自分の何が悪いのかを知るきっかけにしたい」
「一次面接を通過できないことが悩み。何回か挑戦したが内定をいただけなかったので、とにかく面接経験を積みたい」
「就職活動から逃げてばかりで本腰を入れられていない。面接に不慣れで自信をつけたい」

第3位

今後の就活のヒントを得たい 37.2%

「今の時期からスタートしても間に合いますか。現状を打破するヒントが欲しい」
「院試に落ちてしまい、就活を何もしていなかったで困っています。今後の流れを掴みたい」
「就活を始めるのが遅く、何から始めれば良いのか不安。今の状態からどう巻き返せるのか教えてほしい」

第4位

緊張せずに話せるようになる 34.1%

「面接が本当に苦手で恐怖心がある。考えるだけで涙が出るくらいの苦手意識を克服したい」
「過度の緊張から混乱し、意図していなかった質問に答えられなくなってしまうのを直したい」
「年齢が自分より上の方と話す際に、物怖じせず堂々と話せるようになりたい」

第5位

業界職種の方角性を定めたい 30.0%

「やりたいことがないため、行きたい企業を見つけることができない。自分に合った職業は何なのかを知りたい」
「公務員から民間にシフトしたが、自分がどのような職業に向いているのか想像がつかない」
「何をやりたいかもわからなくなった。自分に合った職種、将来の進路を少しでもイメージしたい」

ジェイックでは、卒業目前の中でも、就職活動で苦戦している学生や、内定に結びつかず焦りを抱える学生のサポートを15年以上実施しております。事前研修+面接会という実践の場で「面接経験」を積み、「自分の現在地」を知り、「次のステップへのヒント」を得られる、総合的な成長機会を提供しています。もし上記のようなお悩みのある学生がいましたら、ぜひ、最後のサポートに向けて弊社をご案内ください。

4年生の卒業直前までの就職支援プログラムに、お悩みがあればご相談ください

ジェイックのイベントは就職活動で苦戦している学生や、内定に結びつかず焦りを抱える学生にとって、総合的な成長機会です。参加学生からは「新たな自分の価値観を知ることができた」「今まで見ていなかった業界に興味を持てた」という声も多く、学生の就職活動のアクションを促進し、4年生の卒業直前の内定率向上を実現させています。具体的には、下記のようなプログラムとなっております。

「Web面接会」プログラムとは?



これまで全国176校(2025年6月時点)の大学でご活用いただいている学生の就職活動をサポートするプログラムです。本プログラムは以下の流れで進みます。

1.ガイダンス～事前研修で就活対策

就職活動に必要な知識やスキルを習得するためのガイダンスと事前研修を実施します。

2.Web面接会

書類選考なしで約10社の企業との面接会を実施し、学生に多くの出会いの場を提供します。

3.個別アドバイザーによる支援

学生一人ひとりに専属のアドバイザーがつき、就職活動をきめ細やかにサポートします。

また、学生の問い合わせやアクションを促進するため、マーケティング手法を用いたハガキや案内メールの作成もサポートさせていただきます。貴校のご要望に合わせてプログラムをカスタマイズできますので、お気軽にご相談ください。今後のイベント開催情報をメールでも発信していきますので、ぜひQRよりご登録ください。

メール登録は
こちらから



最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なお意見をお寄せください。右のQRからご回答をお願いいたします。



運営会社(お問い合わせ先):
株式会社ジェイック新卒カレッジ事業部
東京都千代田区神田神保町1-101神保町101ビル6階(受付)
TEL 03-5282-7603 ■ daigaku@jaic-g.com